



通常総会の様子

第38回通常総会開催

「一般社団法人全国牛乳流通改善協会(全改協)は5月20日、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で第38回通常総会を開催しました。

「安心・安全・社会貢献」の目標 仕上げるの年度に

総会は正会員43名に対して41名(代理出席、委任状出席含む)の出席があり、全改協定款第19条および運営規程第7条の規定により成立いたしました。北川副会長の開会の辞の後、橋本正敏会長がまず来賓のご出席への御礼を述べ、次いで、本年度の全改協事業の実施についての決意を時代背景とともに発言し、次のような内容で挨拶をしました。

「昨年度は「安心・安全・社会貢献」を年間の目標とし、地域に喜ばれる宅配業・サービス業を目指し、一定の成果が得られた。皆さまのご協力に感謝申しあげる。26年度は新規事業の準備を行い、27年度からの本格的スタートに結びつけた。

昭和40年代末は「牛乳は牛乳屋から」が当たり前だったが、50年代前半ごろから、スーパーの出現、その後の後継者不足による販売店の減少、09年の乳価改定などで牛乳販売店の市場シェアは数%となっていました。しかし近年は宅配事業そのものが見直され、2017年には2兆円市場になるという見方もある。宅配店も進化が必要だ。



〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-15オリエンビル6階 一般社団法人全国牛乳流通改善協会 TEL.03-6380-8021 FAX.03-6380-8435



第2回牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール 牛乳販売店特別賞受賞作品「いちごミルク」

紙面から 第38回通常総会 (1-3面) 事業計画の概要 (3面) 「地域安全パトロール」について (4面) 「牛乳の日・牛乳月間」について (4面) 本年度の事業にご参加ください(中刷り)

開会の辞 一般社団法人全国牛乳流通改善協会 副会長 北川 忠男氏

本日のご多忙中、ご出席を賜りまして厚く御礼を申しあげます。ご来賓の皆さまもありがとうございます。今はわれわれ販売店にとっては非常に厳しい環境ではありますが、メーカー、マークを超えて皆さまのご協力をいただきながら、この全改協を、一歩でも二歩でも前に進めていきたいと思っております。それでは全改協の第38回通常総会をただ今から開催いたします。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

Advertisement for 'Gasetri' yogurt with GABA. Features images of the product, a woman, and text: 「ガセリ菌のチカラで、一歩進んだ健康習慣。」 「カラダをケアする2つの機能素材 ガセリ菌 + グルタミン」 「低脂肪 カロリー(1個当たり) 59kcal」

挨拶
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
会長
橋本 正敏氏



本日は第38回通常総会開催にあたりまして、ご多忙中にもかかわらず、農林水産省牛乳乳製品課 榎田課長補佐をはじめ、日頃より大変お世話になっている各メーカーの代表の方々、何かと指導をいただいております。また、会員の皆さまには、日頃の当会の運営に対して、ご理解、ご支援ご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申しあげたいと思います。

平成26年度は、「安心・安全・社会貢献」の旗印のもとに、地域に喜ばれる、また地域に選ばれる宅配業・サービス業を目指そうということを年間目標にして活動してきました。この活動を通じて、地域における牛乳販売店の社会的地位の向上、存在感の向上に努めました。皆さまのご協力があり、また、昨年度より開始した地区別代表者会議を実施したことにより、一定の成果が得られました。改めて感謝申し上げたいと思います。26年度は「地域安全パトロール」などの地域貢献型事業と、加盟店のメリットを追求する「食品流通構造改善緊急対策事業」を新たに準備を進め、いよいよ27年度から本格的にスタートをする所存です。これら事業につきましては、総会後に全国

5地区(仙台、東京、大阪、名古屋、福岡)で各地区の流改協の会長さん、事務局の担当者さんにお集まりいただき開催する「地区別代表者会議」でくわしく説明し、ご相談しながら実行に移していく所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昭和40年代末は「牛乳は牛乳屋から買う」というのが当たり前の時代だったと記憶しています。それが、いわゆる「団塊の世代」と呼ばれる、ちょうど私たちの世代ですが、それが成長期を迎えた昭和50年代前半ごろから、牛乳販売店の売り上げは下降線をたどり始めました。大型流通店の参入や相次ぐ異業種の参入、少子高齢化にもなう後継者不足による販売店の減少などの要因により、今や牛乳販売店の市場シェアは数%に留まるという状況となっております。さらに、09年の2度にわたる乳価改定の際には、スーパー、大手量販店はこぞ利益の大きな成分調整乳や乳飲料などの売り場シェアを拡大したために、私たち宅配牛乳店が扱う牛乳との価格差がますます広がりました。これも宅配牛乳のシェアが落ちた要因かと思えます。

27年度は、昨年度に掲げた目標を踏襲し、仕上げをして参りたいと考えています。「低温物流」、「少量多頻度配達」を得意とする牛乳販売店の社会的な役割のさらなる向上を目指して行くことが肝要だと考えています。その実現のためには、いま活躍なさっている全国の牛乳販売店が手を結び、活動をもにすることが、より大きな力になると考えます。残念ながら一部のメーカーさんとはその思いが共有されていませんが、「牛乳販売店としての誇り」、「牛乳乳製品の消費拡大に対する思い」は同じはずだと思っております。「小異を置いて大同に就く」とことわざにも言いますが、大きな気持ちを持って、あきらめずに全国の牛乳販売店を一枚岩にする、これも近々の課題と思っております。

現在、特定商取引法の改正論議、人口減少、労働力不足等、課題は山積していますが、今こそ私たちが力を合わせて、「全改協の使命」を果たし、これらの課題を解決していくことが肝要であり、宅配事業に対する牛乳販売店の存在感を大きく示すことにつながると考えます。

本日お集まりの関係各位には、これからも変わらぬご支援をいただきますとともに、全国各地でリーダーシップをとっていただいている流改協会長の皆さまには、地域の加盟店のために、私たちが組織として何をやっていきたいと思いますのかを一緒に追求していただきたいと思います。ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

祝辞
農林水産省生産局畜産部
牛乳乳製品課 課長補佐
榎田 浅亨氏



第38回通常総会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

皆さま方におかれましては、日頃より農林水産行政へのご理解を賜り、改めて感謝申し上げます。

ご承知の通り、日本は人口減少、少子高齢化が進んでおり、これを受けて飲用牛乳の消費はこの10年、減少傾向で推移しています。

酪農乳業の安定的発展を図るためには、国産牛乳乳製品の底堅い需要の確保が重要であり、喫緊の課題です。このため、皆さま方におかれましては、日頃から消費者と身近なつながりを持つという強みを活かしつつ、今後とも、地域における消費者の信頼確保、牛乳乳製品の消費拡大、また、地域における活動などで引き続きご尽力を賜れば幸いです。

農林水産省といたしましても、学校給食用牛乳の安定供給を図るための支援措置を行っておりますが、平成26年に国産畜産物の新たな需要獲得のための技術開発を予算措置しております。こういった事業を活用しながら牛乳乳製品の消費拡大を推進していきたいと思っております。

また最近の需給状況を踏まえ、牛乳乳製品の安定供給を図るため、酪

農生産基盤の強化に向けた支援、適宜適切な乳製品の輸入を実施して参りたいと思っております。

さらに、本年4月より、飲用牛乳、乳製品の販売価格の値上げを各メーカーが実施されましたが、小売価格の引き上げ、これによる需要への影響については、引き続き農林水産省として注視して参ります。

最後に、本日ご列席の皆さまにおかれましては、ますますのご発展、ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

とを拜見しました。とても頼もしく思った次第です。

さて、牛乳乳製品、酪農乳業をめぐる情勢につきましては、すでにお話がありましたとおり楽観を許されない状況です。加えて、牛乳を否定的に捉える「アンチミルク」という考え方が次々と出て、お客様の不安を招くことが懸念されております。Jミルクではこれらに対して、科学的な根拠に基づく適切な反論をウェブサイトに掲載しておりますので、お客様からの質問等ございました場合には、ご参考になさってください。

6月は牛乳月間、6月1日は牛乳の日です。業界が「生・処・販」で連携して「牛乳の日」の認知を高める取り組みが必要です。作成しました共通のポスターをご活用いただき、お客様へのPRをお願いいたします。また、5月30日には、東京・有楽町の国際フォーラムにて、「日本人とミルクの関係を考える」というテーマで「牛乳の日記念学術フォーラム」を開催します。

全改協とJミルクが毎年制作に係わる「ミルクカレンダー」は、2016年版は「乳和食」の自家である料理研究家の小山浩子先生監修の乳和食レシピを掲載します。どうぞご期待ください。

牛乳販売店のお仕事というのは、酪農乳業界でお客様と直接向き合っている唯一無二のチャネルであるということに申しあげてもいいかもしれません。どうぞ今後もこの特性を活かして、皆さまの事業、また、全改協がますます発展されますよう祈念しましてお祝いの言葉といたします。

祝辞
森永乳業株式会社 市乳事業部
市乳マーケティンググループ長
松永 英樹氏



賛助会員メーカーを代表してご挨拶させていただきます。

本日は、第38回通常総会の開催、心よりお慶び申し上げます。日頃は、全改協の基幹事業である、牛乳流通の改善、牛乳の消費拡大、加盟店の経営の安定に向けて、熱心な取り組みをなされていることを改めてこの場をお借りして御礼申し上げます。

景気の復調の兆しは一部では見られていますものの、一方、内閣府が実施した消費者アンケートで、2015年は生活が良くなると回答した人は約5%、収入が増えると回答した人は約6%に過ぎず、消費者の景気回復の体感はまだまだといえます。私どもを取り巻く環境もまた厳しく、乳価改定円安による輸入原材料の高騰などにより、コストの一部をお客様にご負担いた



通常総会の様子

多くが値上げをされたと同程度でありま
す。お客様の離反を防ぐために、メー
カー、販売店一丸となり様々な取り組
みを行った結果、現状ではお客様から
過剰な反応はなく、おおむね予測どお
りで済んでいるとの報告を受けてお
り、若干胸をなで下ろしているとい
う状況です。これも、加盟店の皆さまが
日頃から地域に密着し、お客様と密に
コミュニケーションを取られていること
に加え、天候にも左右されず正確に配達
してくれる加盟店様の信頼や安心感
への評価によるものと考えております。

閉会の辞
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
副会長



村田 武司 氏

長時間
にわたり、
ご来賓の皆
さまならび
に全国か
らお越しいただいた会員の皆さま方
のご協力で総会を無事終了することが
できました。深く御礼申し上げます。

現在、食品宅配市場は約2兆円と
伸張している中で、コンビニ宅配が私
たちの脅威になってきています。大手コ
ンビがまた二社本格的参入をすると聞
いています。私たちは、「牛乳宅配」とい
うものの存在感をしっかりと示してい
く必要があります。「低温物流」「定期配
達」「コミュニケーション」という特徴に
磨きをかけ、「世の中になくはならな
い社会インフラ」として牛乳宅配が認
知されるよう、メーカーの垣根を越え
て取り組みを強力に進めなければいけ
ないと考えています。

【総会報告事項】
平成27年度事業計画の概要

全改協は一般社団法人のため、一般社団法人移行前の事業を引き続き実施する(「継続事業」) 必要があり
ます。このため、すでに4月度の理事会にて、「平成27年度の事業は昨年度と同様の事業を実施する」という
承認を受けています。本総会では、その事業内容を報告しました。
それぞれの事業について目的、概要を次のとおりご説明します。

事業の内容

1. 普及啓発事業

① 体験事業(牛乳屋さんのお仕事
体験)

牛乳販売店が中学校の授業の
「職業体験」の受け入れ先となり、
中学生に業務を体験してもらい、
働くことの意義や基本を学ぶと同
時に、牛乳が成長期に有用な食品
であることの理解を深め、飲用の機
会を増やすことを促し、中学生の
健康増進や体躯向上に寄与する。

また、幼稚園や保育所及び小学
校に対して「職場訪問」「社会科
見学」等の場として提供し、地域
社会に貢献するとともに牛乳販
売店の社会的地位を高める。

「職場体験」の募集方法は、教育
委員会への案内、文部科学省の職
業体験マッチングサイト「子どもと
社会の架け橋となるポータルサイ
ト」への掲載を利用する。

② 啓発事業(妊産婦への牛乳促進
「ママに牛乳どうぞ」キャンペーン)

女性にとって妊娠中や出産後の
授乳期は、栄養の補給が特に必要
になる時期であることから、妊産
婦に対し牛乳の飲用を促す啓発
活動を行い、母体と胎児の栄養補

給および健康増進を図る。
本年度は加盟店からの応募は期
限を設けず通年とする。

③ 広報物配布事業(ミルクカレンダー
「乳和食でおいしく減塩」)

各種栄養素がバランスよく含ま
れ、手軽に利用できる食品である牛
乳の利用をさらに拡大するために、
「飲む」だけでなく「料理」に活用
してもらうよう、ミルクカレンダー
を作成し、消費者に無料配布する。
カレンダーには、牛乳に含まれる栄
養素とその効用、1年365日の
料理に牛乳を料理に取り入れる工
夫を施したレシピ、牛乳製品の情
報並びに宅配牛乳の利便性等を掲
載する。2016年版は、「乳和
食」を提唱した料理研究家小山浩
子先生の監修料理を掲載する。

今年度も「ミルクが企画・制作、
全改協が部数のとりまとめ、印刷、
配布を担当する。原則として、都道
府県の流改協にとりまとめをお願
いする。

④ 事例集発行事業(牛乳販売店優
良事例)

牛乳販売店からの牛乳の購入の
機会は減少しているが、牛乳販売店
は地域にとって不可欠な存在であ
る。地域社会に貢献しながら飲用

2. 固有事業

① 地区別代表者会議

「地区別代表者会議」を全国5ヶ所
(仙台、東京、名古屋、大阪、福岡)で
開催する。全改協の事業内容を説明
するとともに、意見交換の場とする。

② 地域安全パトロール

都道府県警察の協力を得て地域安
全パトロールを実施し、牛乳販売店の
社会的地位の向上を図る。宅配等
業務時に、統一ステッカーを貼った配達
車両で地域を回ることで地域の安全
パトロールを行う。6月の牛乳月間、
年末の防犯等の全国統一行動を目指
す。成果を「全改協だより」で発表す
る。

③ 食品流通構造改善緊急対策事業

(公財)食品流通構造改善促進機
構の事業を活用し、加盟店の設備機
器導入費用の軽減を図る。

④ 買い物弱者対策モデル事業

買い物弱者の増加に対して牛乳販
売店としてのよりよい対応策を検証

するため、本年度はテスト事業を実施
する。
二次商品(宅配牛乳類以外の商品)
を盗難、いたずら、汚れ等から守るた
め、宅配ボックスを宅配先に設置する
ことをモデル実施し、結果の調査を行
い、本格実施につなげる。

3. 広報関連事業等

① 機関紙「全改協だより」の発行

全改協や「ミルク、酪農乳業界の
情報・動向、加盟店経営の活性化・近
代化を図るための参考資料等を掲載
し、都道府県流改協を通じて全国の
加盟店に配布する。

② 全改協ホームページ

組織の周知ならびに提供すべき情

報をタイムリーに掲載し、必要な更新
をその都度行う。同時に、宅配牛乳、
宅配牛乳販売店や全改協の加盟店へ
の啓発活動の支援充実を目指す。

4. 関係団体への協力

牛乳・乳製品の普及および消費費
大に向けて、「(社)Jミルクの正会員
としてJミルクの諸活動に積極的に
参加する。また、「(公財)食品流通構
造改善促進機構のメンバーとして関係
団体とも協力して諸活動に参加する。
また、全国牛乳商業組合連合会、
日本乳政政治連盟、マーク団体及び
乳業団体等関係諸団体とも緊密な
連携をとり、酪農乳業界の発展のた
め協力する。

業界初、配達ルート記憶ナビゲーション
「プロ道君」発売開始!!

お使いのナビゲーションは、遠回りしたり、
目的地付近で案内が終わってしまうことはありませんか?
「プロ道君」はベテラン配達員と同じ道を記憶し、
宅配BOXまで案内します。
※「プロ道君」は「らくらく牛乳屋さん」「市乳君」等の基幹システムと
連動いたします。
株式会社メガアシスト
〒299-1162
千葉県君津市南子安2-9-1
TEL:0439-27-1808
FAX:0439-27-1809
HPアドレス http://www.megaassist.info/
販売価格:
セット内容:管理ソフト1台
タブレット端末用ソフト(タブレット端末込み)1台
地図ソフト1台
773,500円(税別) 5年リースの場合:月額14,310円(税別)
※リース会社、信販会社によって金額が異なる場合がございます。



各流改協の「地域安全パトロール」の活動について

本年度から本格実施となった「地域安全パトロール」。全改協の地域貢献活動として、マークの枠を超えてずっと続けていく活動です。

これまでにご報告のあった、各流改協の活動内容についてご紹介します。警察との協力宣言の伝達式、出発式、また実際のパトロールで加盟店さんが挙げられた成果などがありましたら、全改協までご一報ください。ご紹介させていただきます。



(一社)全国牛乳流通改善協会
都道府県警察
(公財)全国防犯協会連合会

徳島県… 4月10日「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」の県警との締結式を実施。
4月11日(土)付けの「徳島新聞」で報道されました。

秋田県… 5月14日開催の秋田県流改協役員会の場に、県警 生活安全係の担当警部補が同席、事業実施についての留意点等について指導を受けました。

長野県… 6月13日に出発式を執り行いました。

北海道… 6月21日に、道警、道防犯協会連合会との協力宣言を締結し、パトロール発足式を実施しました。札幌市「乳と酪農の資料館」から、安全パトロールのステッカーを貼った配達車両20台が一斉にパトロールに出発し、地元メディアで報道されました。

神奈川… 7月1日に、第20回優良事例の農林水産大臣賞受賞店であるエムズ株式会社で神奈川県警と協力宣言を締結し、出発式を行いました。地元メディアで報道されました。

北海道新聞6月25日(木)夕刊記事より
(この記事の著作権は北海道新聞にあります)

牛乳宅配で防犯貢献 札幌
流通改善協会が出動式

夜に牛乳宅配は地域の見守り活動に貢献でき、犯罪の抑止につながる。とあいさつ。防犯ステッカーを車体の高側に張った13台の牛乳配達車などがさっそくパトロールに出発した。(山村麻衣子)



6月1日は
牛乳の日
WORLD MILK DAY
6月は牛乳月間

6月1日は「牛乳の日」、6月は「牛乳月間」です。これは、FAO(国際連合食糧農業機関)が2001年に、6月1日をWorld Milk Day(世界牛乳の日)とすることを提唱したことによります。日本の酪農乳業界挙げて、6月にはさまざまな催し、イベントが行われました。全改協が関係した活動をご報告します。

加盟店店頭用ポスターの配布

▶酪農乳業界・生処販統一の牛乳月間訴求のポスターを各流改協にお届けしました。各加盟店さんにも届き、店頭に掲示していただいたことと思います。



NHK『きょうの料理』でミルク料理の紹介

▶ミルクカレンダーで、ミルクを使った減塩料理をご紹介しますが、日本の料理番組の代表格・NHK『きょうの料理』でミルクを使った減塩料理レシピが紹介されました。

今年の全改協のミルクカレンダー「2015 Milk Calendar みんなの健康ごはん ミルクを使っておいしく減塩」の料理監修をしていただいた小田真規子先生が、「やわらか豚カツのヨーグルトタルタル」「手づくりチーズの和風パエリア」「まぐろのミルクごまだれマリネ」の作り方を紹介されました。短時間で手際よく3品を作られた様子は、6月23日(再放送は翌日24日)に放映されました。



小田真規子先生



ミルクカレンダー

「牛乳の日」記念学術フォーラム「日本人とミルクの関係を考える!!」

▶去る5月30日(土)、東京で「牛乳の日」記念学術フォーラムが、乳の学術連合と(一社)Jミルクの主催で開催されました。本年は、6月1日を「World Milk Day(世界牛乳デー)」と定めたFAO駐日連絡事務所が協力団体となりました。チャールズ・ボリコFAO駐日連絡事務所長のビデオメッセージが流されるなど、「牛乳の日・牛乳月間」を一層意識した取り組みになっていました。

人類史でのミルク利用の起源の考察、これからの日本食と牛乳との融合の可能性を述べた講演、乳成分の側面から「乳糖不耐症」について述べた講演、いわゆる「アンチミルク」のような牛乳有害論や牛乳不要論が根拠としている論文がいかにか科学的根拠が薄いものかを示唆した講演があり、牛乳についてはまだまだ様々なアプローチができることを広く示したフォーラムでした。



あなたの骨と腸をサポート!

森永カルダス

生きたまま腸まで届くビフィズス菌でお腹の調子を整えます!

消費者庁許可 保健機能食品(特定保健用食品)※乳製品乳酸菌飲料 (宅配専用1本 180ml)

- ミルクカルシウムが2倍(当社普通牛乳比)
- 鉄分1mg
- 森永独自のビフィズス菌(BB536)
- カルシウムの吸収を助けるビタミンD



森永乳業

商品に関するお問い合わせ

0120-369-465

(受付時間: 土日祝日、年末年始を除く9:00~17:30)

皆さんの積極的なご参加をお待ちしています!



全改協事業のご案内

全改協は、牛乳の消費拡大と加盟店の経営安定化のためにさまざまな事業活動を行っています。
加盟店の皆さまがその事業に参加し実施することで販売促進や社会貢献にもつながります。
皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

**各事業へのお問い合わせは
都道府県の牛乳流通改善協会(流改協)までお願いします。**

① 体験事業(牛乳屋さんのお仕事体験)

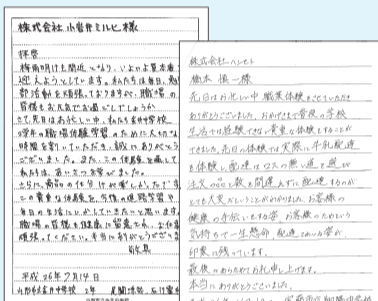


牛乳を身近に感じてもらおう!

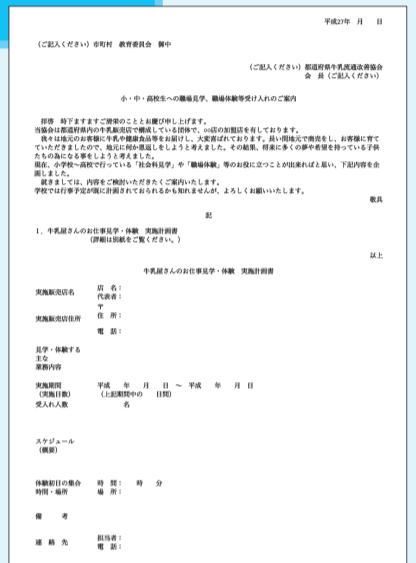
職場体験で、中高生には仕事を体験してもらい、園児や小学生にはお店を見学してもらおう! 体験者へ向けた資料(牛乳についてもっと知ろう!)も用意しています。これまでに数多くの生徒さんが体験し、販売店には多くのお礼の手紙が寄せられるなど、生徒・教育機関双方からご好評をいただいています。



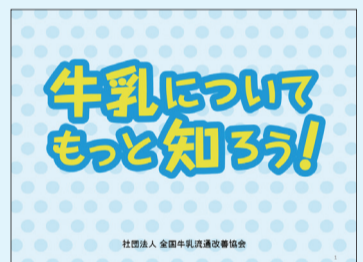
昨年度、岐阜県・秋田県の中学校で実施された体験事業の様子。実際の仕事を通して、働く方と直接接することで、牛乳販売店への理解が大きく深まった。



お礼の手紙



申込みは流改協を通じて、各教育委員会へ。



中学生向け説明用資料は、全改協HPからダウンロード可能。

② 妊産婦への牛乳促進(ママに牛乳どうぞキャンペーン)



全改協が半額負担! お得意様づくりに!

宅配牛乳のメリット、便利な点、栄養的にもすぐれている点をもっと知ってもらおう! お客様や知人に紹介していただくなどの手法も使って、積極的にキャンペーンをすすみましょう。

はじめて宅配牛乳を利用した妊産婦の方々から、こんな声をいただいています。

- 妊婦としてカルシウムを手軽に摂取できたので良かったです。
- 産後も授乳のために赤ちゃんのために続けたいと思います。
- 牛乳を買うと荷物がかさみ重くなるので持ってきてもらって本当に楽でした!
- よく、乳腺炎になってしまい、体調が悪くなることがあったのですが、ラクトフェリンがよかったのかすごく順調に授乳できています。
- 牛乳のおかげか、授乳中の子供も体調をくずすことなく、標準より大きく育ってくれています。

赤ちゃんができたお母さん! 牛乳屋さんがお届けする牛乳を飲みましょう!! 「ママに牛乳どうぞ」キャンペーン

赤ちゃんができたら、十分な栄養、特にカルシウムと鉄を摂取することが必要です。妊娠・授乳期には、母体の栄養素を十分に摂取することが必要です。その中でも特に重要な栄養素は、胎児の骨格の材料となるカルシウムと血液成分となる鉄分です。母体はこれを十分に摂取する必要があります。



妊娠中は母体から胎児へ約30gのカルシウムが移行し、授乳期では母乳を通して1日約220mgのカルシウムが乳児に失われます。

女性に妊娠、出産する年齢におけるカルシウム摂取の目安量は、20歳代で1日700mg、30歳代で600mgですが、実際の摂取量(平成16年度)は20歳代で432mg、30歳代で455mgと極度に不足していることがわかります。

■妊娠・授乳期におけるカルシウム摂取の目安量を手軽に毎日とれる食品として、牛乳・乳製品は最適です。

●赤ちゃんができたお母さんには、カルシウムや鉄分を強化した商品が揃っています。お店では買えません。●1本(180ml)の飲みかけサイズでもお買いただけます。●定期的にお届けするので、飲み習慣が身につきます。しかも新鮮です。

宅配牛乳のキャンペーン中
3ヶ月間の牛乳代金相当分を半額負担
妊産婦さん対象

★詳しくは下記販売店にお問い合わせください★
※本キャンペーンは、一般社団法人全国牛乳流通改善協会の事業として、妊産婦に対しての啓発活動の一環として実施するものです。
※本キャンペーンは、一般社団法人全国牛乳流通改善協会の事業として、妊産婦に対しての啓発活動の一環として実施するものです。
宅配牛乳で手軽に毎日、栄養補給!

妊産婦のお客様を獲得するためのパンフレットは、全改協HPからダウンロード可能。

③ 牛乳販売店優良事例発表会



めざせ農林水産大臣賞!

日頃の販売活動をお知らせください。中央発表会に進まれた加盟店を審査し、農林水産大臣賞を授与いたします。

発表会では、名誉ある「農林水産大臣賞」を頂点に、各優秀賞を決定。受賞店は、高い信用度という営業活動のメリットが得られます。ぜひ皆様もご参加ください。



昨年度、農林水産大臣賞を受賞したのは鹿児島県の株式会社しのはら。「目指すのは顧客満足度世界一」とのコメントが印象的です。



過去の優良事例発表会の様子。それぞれの加盟店が工夫を凝らして発表しています。

④ 食品流通構造改善緊急対策事業(リース事業)



設備導入時のリースの利息 2/3相当額を免除!

皆様が設備・機器を新たに導入する際のリース利息の一部を「(公財)食品流通構造改善機構」が負担する事業です。全改協加盟店であれば、必要書類を流改協を通じて提出するだけです。

●提出期限:
2015年8月末日まで

本事業の詳しい説明パンフレットは、すでに都道府県流改協にお配りしています。8月末日が締切となりますので、機器の導入を検討中の方はぜひお問い合わせください。

支援

- リース会社(リース会社)の選定
- リース料の負担
- リース料の免除

導入者のメリット
(通常のリース) A円 B円 C円

5つの分野

- 情報 → コンピュータ、情報ネットワーク、ハードウェア、ソフトウェア
- 物流 → 倉庫、冷蔵、冷凍、冷蔵トラック、冷蔵トラック等
- 食品衛生 → 清潔、清潔、清潔
- 食品ロス → 食品ロス削減のための設備、機器
- 廃棄物 → 廃棄物処理のための設備、機器

対象となる設備・機器

- × 建物、器具、工業用、内装等
- × 店舗の修繕、空調設備
- × 農機(トラクター、コンバイン等)
- × 自動車(トラック、バス等)
- × 農業用トラック(肥料散布機、トラクター等)
- × テーブル(作業台等)
- × その他の機器的なもの
- × 消費財(冷蔵庫、洗濯機、掃除機、保管庫)
- × 肥料、飼料等

返済方法
リース会社に対して、リース料を支払う。(食流機構への返済はリース料に含まれています)

⑤ 地域安全パトロール



加盟店による地域貢献活動!

配達時などにできる地域貢献活動として、統一ステッカーを貼った車両による地域安全パトロールを!

これは、「地域を巡回する」「早朝の時間帯に活動する」「お客様と顔の見えるお付き合いをする」という、牛乳販売店ならではの活動といえます。地域社会における地位向上のためにも、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。



北海道で行われた出発の様子。ステッカーを貼った配達車両が一斉に走り始め、地域に大きくアピールしました。

地域安全パトロール中

みんなで
つくろう
安心の街。

(一社)全国牛乳流通改善協会
都道府県警察
(公財)全国防犯協会連合会

全国規模で展開するため、シンボルとして統一デザインのステッカーを作成。